

DPRI Award 設立の趣旨および第 6 回 DPRI Award 受賞者決定の経緯

研究教育担当副所長 畑山 満則

防災研究所は、国内外で発生する自然災害を研究対象とすることから、従来から国際交流協定の締結、国際共同研究、海外災害調査や留学生・海外共同研究者の受け入れなど積極的に取り組んできました。平成 22 年度に認定され開始した共同利用・共同研究拠点は平成 28 年度から 2 期目に入り、今年度の中間評価では A 評価となりました。また、防災研究所が事務局を務める世界防災研究所連合（GADRI）は、2019 年 3 月に第 4 回世界防災研究所サミットを開催いたしました。さらに、第 5 回世界防災研究所サミットは 2021 年にイタリアで開催を予定しています。このように防災研究所は頻発する国内外での自然災害に備えるための国際防災研究拠点として、その地位を確立するために、様々な新しい取り組みを推進しています。

これらの一環として平成 23 年 3 月に「京都大学防災研究所国際表彰規程」が制定され、DPRI Award が設立されました。その表彰の要件は概略下記のとおりです。

- 1) 防災研において、客員教員や共同研究者などとして滞在し、セミナーや共同研究などを実施し、防災研の研究教育に成果を上げた方
- 2) 防災研が主催する研究集会等において、基調講演、招待講演等を務め、又は企画運営に携わり、防災研の活動に貢献した方
- 3) 防災研が実施する国際共同研究及び現地調査等において貢献した方

平成 25 年度には第 1 回の防災研究所国際表彰 DPRI Award をカリフォルニア工科大学名誉教授の金森博雄博士に授与いたしました。また、平成 26 年度には第 2 回 DPRI Award をメキシコ自治大学教授のフランシスコ・サンチェズセスマ博士に、平成 27 年度には第 3 回 DPRI Award をウォータールー大学教授のキース・ハイペル博士に、平成 28 年度の第 4 回 DPRI Award では、ローザンヌ大学教授のミシェル・ジャボイェドフ博士と国際応用システム分析研究所のリスク・レジリエンスプログラムに授与いたしました。平成 30 年度の第 5 回

DPRI Award ではネバダ大学リノ校教授のジョン・グレッグ・アンダーソン博士に「研究教育業績賞」を授与いたしました。

今回令和元年度の国際表彰について、令和元年 11 月に防災研究所の多々納教授から推薦があり、表彰選考委員会で慎重に審議しました。その結果、ノーサンブリア大学教授のアンドリュー・コリンズ博士を「研究教育貢献賞」として、第 6 回の防災研究所国際表彰 DPRI Award の受賞者として所長に推薦することを決定いたしました。その後、所長の承認を受け、これを教授会に諮り承認されました。

コリンズ教授は 1961 年英国に生まれ、1996 年にキングス・カレッジ・ロンドンで博士号 (Ph.D) を取得後、国際開発コンサルタントを経て、2000 年にはノーサンブリア大学の Disaster Management and Sustainable Development に関する大学院プログラムの設立リーダーを務められました。2001 年から Senior Lecturer、2007 年から Reader を経て、2012 年に教授に着任され、2013 年からは Disaster and Development Network (DDN) のリーダーを務められています。

コリンズ教授は、人文地理学を専門とされ、災害管理と途上国の持続可能な開発に関して、数多く実践的な研究成果を残されています。これらは、学位取得後、戦時中のモザンビークのコミュニティへの 3 年間の自発的な支援を含めアフリカと中東で長期間にわたって行われた研究・ボランティア活動がベースとなったものであり、近年、防災研究所が推進する実践科学 (Implementation Science) の研究成果として高い評価を受けているものです。また、世界初の Disaster Management and Sustainable Development に関する大学院プログラムの設立を主導されるなど、教育面でも多大な貢献をなされています。

防災研究所には、2004 年の国連防災会議時の訪問を機に、11 度訪問されており、防災教育や地域実践に関する共同研究や研究指導をされるとともに、関連する講義やゼミナールを通じて、人文地理学をベースに若手研究者や学生への教育を熱心に行われました。また、防災研究所が立ち上げを主導した世界防災研究所連合 (GADRI: Global Alliance of Disaster Research Institutes) には第 1 回サミットから参加され、現在は、ヨーロッパアフリカ地区の理事として、英国におけるアライアンスである UKADR の立ち上げに尽力いただいています。

これらコリンズ教授との共同研究や彼の学生・若手研究者への継続的な研

究・教育の実績は、防災研究所の国際プレゼンスの向上に大いに寄与してきました。コリンズ教授にはこれまでのご貢献に深く感謝するとともに、今後も受賞者に授与される終身称号の **DPRI Fellow** として、防災研究所の研究・教育に大所高所からご指導・ご助言いただければ大変ありがたく存じます。